

今こそ知ろう! 考えよう!

札幌の雪対策



このページに関するお問い合わせは、雪対策室計画課 ☎211-2682へ

187万人もの人口を抱える大都市で、年間の平均降雪量が6㍍にも及ぶ世界で唯一の都市。それが札幌であることをご存じですか? そんな世界でもまれな街・札幌の雪対策が今、曲がり角を迎えています。一体どんな問題があるのか? 「札幌の雪対策の今」についてお伝えします。

雪対策の根幹となる作業

「寄せる」除雪
「運ぶ」排雪

除雪

降り積もった雪を道路脇へ
除雪距離は一晩で
約5,000^キ。

排雪

寄せた雪をたい積場などへ
札幌市では生活道路
の排雪はしていない!?

市の除排雪は、市内を39地区に分けて行います。12月1日～翌3月20日は各地区に除雪センターを設置し、いつでも出動できる体制を整えています。

- ・降雪量10[㍍]以上を目安に実施
- ・市が管理するほとんどの道路が対象 (機械での除雪が可能な幅のある道路)



※通勤・通学時間に間に合わせるため、作業は深夜から早朝にかけて行われます。

- ・市は幹線道路、通学路などについてのみ、雪山が高くなる1月ころから実施
- ・生活道路については、町内会などと市が費用を出し合い排雪する制度により対応

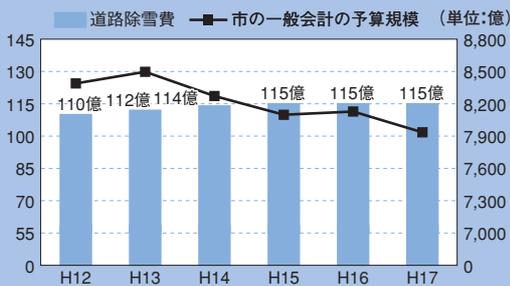


※生活道路～幅が10[㍍]未満で宅地に接する道路

市の抱える問題
市役所ができることには
限界が

これ以上お金を投入することはできない!

■道路除雪費(当初予算)と市の一般会計の予算規模の推移



※道路除雪費に、融雪槽の整備費などを加えた金額が雪対策費(17年度の予算額は約147億円)となります。

17年度の一般会計の予算規模が前年比2.4%減となり、予算が大きく減額となる事業もあるなど、長引く不況で厳しさを増す市の財政状況。そんな中、道路除雪費についてはなんとか現状を維持し、除排雪の水準を保つよう努めているものの、これ以上の予算増は難しい状況です。

一番の問題は、限られた財源の中でできる精一杯の雪対策を行いながらも、なかなか市民の皆さんに満足してもらえない点です。このことは、「除雪について」がよくやっている施策の2位^{*}と高い評価を受けている一方、27年連続で市政に対する要望の1位^{*}になっていることにも表れています。

※平成16年度市政世論調査の結果より

除雪した雪を家の前に置かないでほしい



わだち、ザクザク状の路面のせいで、車が走りづらい



多く寄せられる
不満の声と市の対応

間口に寄せられた雪をすべて取り去ることは多くの労力・経費を要し、現実的には不可能です。そのため間口の雪の処理は、各家庭での対応をお願いしています。

このような状態を確認した場合、速やかに除雪などの対応をしています。しかし、水を含んだ雪は重く、作業は困難で多くの時間が掛かります。

冬のルールを守って!

除排雪の適切な実施には、最低限のルールの徹底が欠かせません。

- 路上駐車をしない
- 前日の夜など、除雪前にゴミを出さない
- 雪かきした雪を路上に出さない